



# 平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年4月20日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 経営管理部長 (氏名) 肥沼 邦幸

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 平成30年5月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第1四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	4,307	12.8	54		32		26	
29年12月期第1四半期	3,820	1.1	33		17		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	2.79	
29年12月期第1四半期	1.49	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	20,697	9,232	44.6
29年12月期	18,288	9,466	51.8

(参考)自己資本 30年12月期第1四半期 9,232百万円 29年12月期 9,466百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		20.00		20.00	40.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,600	3.8	160		145		112		11.62
通期	20,100	1.6	580	10.1	680	15.5	320	20.8	33.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	9,644,554 株	29年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	8,561 株	29年12月期	8,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	9,635,993 株	29年12月期1Q	9,635,993 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成30年1月～3月）における日本国内の経済環境は、政府による経済・金融施策を背景に企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費が増加基調をたどるなど、総じて緩やかな回復傾向が続きました。一方で地政学的リスクの拡大や、海外の政治・経済動向の不確実性、金融資本市場の変動による影響など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

また、アイスクリームを含めたデザート市場は年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが急速に進化し、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“*We make people happy*”「アイスクリームを通じて、皆様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入と強化を進め、店舗の改装やスクラップ・アンド・ビルドにも引き続き積極的に取り組んでおります。

当四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」を投入し、商品ラインナップを強化いたしました。また、お正月やひなまつり等のオケージョンに合わせた新商品の発売や、ディズニー・キャラクターを使用したバリュー・プロモーションなども実施し、コミュニケーション・ターゲットを今年も情報発信力の強い女子中高生に設定して、TVCMを中心に31cLubやSNSでの告知を強化し来店促進と売上の向上を図りました。

また、店舗施策として改装を31店実施した一方、戦略的な閉鎖を先行した結果、期末店舗数は1,162店舗と前年同期末に比べ13店舗減少となりました。

以上の取り組みとともに、昨年この時期にはなかった3月のソフトバンク社の「SUPER! FRIDAY」とのコラボレーション効果もあり、当第1四半期累計期間の売上高は43億7百万円（前年同期比112.8%）と前年同期を上回ることができました。

売上原価は、21億82百万円（前年同期比117.7%）と売上高の増加に伴い増加いたしましたが、売上総利益は21億24百万円（前年同期比108.1%）となりました。

販売費及び一般管理費は、積極的な販売促進活動の実施等により増加し、営業損失は54百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。

以下、経常損失32百万円（前年同期は経常損失17百万円）、四半期純損失26百万円（前年同期は四半期純損失14百万円）となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ24億8百万円増加の206億97百万円となりました。これは主に、未収入金並びに現金及び預金の増加によるものであります。

総負債は前事業年度末に比べ26億43百万円増加の114億65百万円となりました。これは主に、短期借入金及び未払金の増加によるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億34百万円減少の92億32百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月6日に公表いたしました「平成29年12月期 決算短信（非連結）」の業績予想より変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,579,076	2,556,760
売掛金	3,127,459	3,138,215
製品	790,570	854,967
原材料	545,013	555,417
貯蔵品	348,478	264,738
前渡金	60,233	69,708
前払費用	242,430	270,498
繰延税金資産	117,767	134,156
未収入金	127,587	1,646,308
未収還付法人税等	-	7,367
その他	65,587	84,309
貸倒引当金	△112	△100
流動資産合計	7,004,091	9,582,348
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,032,005	4,064,785
減価償却累計額	△1,516,554	△1,554,544
建物(純額)	2,515,450	2,510,240
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	△195,754	△200,510
構築物(純額)	241,946	237,190
機械及び装置	3,873,960	3,890,905
減価償却累計額	△2,323,734	△2,356,472
機械及び装置(純額)	1,550,226	1,534,432
賃貸店舗用設備	3,977,247	3,955,496
減価償却累計額	△2,259,960	△2,283,904
賃貸店舗用設備(純額)	1,717,287	1,671,591
直営店舗用設備	199,683	218,523
減価償却累計額	△97,466	△100,979
直営店舗用設備(純額)	102,216	117,543
車両運搬具	73,743	76,891
減価償却累計額	△57,286	△57,830
車両運搬具(純額)	16,456	19,061
工具、器具及び備品	794,985	798,480
減価償却累計額	△586,609	△600,550
工具、器具及び備品(純額)	208,375	197,930
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	42,917	46,257
有形固定資産合計	7,090,239	7,029,610
無形固定資産		
ソフトウェア	221,394	333,769
ソフトウェア仮勘定	126,805	4,570
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	365,265	355,404

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	56,583	53,234
従業員に対する長期貸付金	4,056	3,926
破産更生債権等	156,664	147,489
長期前払費用	453,918	456,416
繰延税金資産	16,957	18,166
敷金及び保証金	3,150,909	3,063,120
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△29,586	△31,929
投資その他の資産合計	3,829,189	3,730,109
固定資産合計	11,284,694	11,115,125
資産合計	18,288,785	20,697,473

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	574,570	510,001
短期借入金	1,000,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	329,960	329,960
未払金	1,803,683	3,163,304
未払費用	37,106	36,986
未払法人税等	130,295	-
未払消費税等	26,993	10,630
前受金	1,848,802	1,869,751
預り金	140,859	165,681
賞与引当金	41,955	102,611
役員賞与引当金	3,000	-
ギフト券回収損失引当金	165,090	159,972
その他	39,947	25,951
流動負債合計	6,142,264	8,874,852
固定負債		
長期借入金	1,121,002	1,038,512
退職給付引当金	164,807	156,586
役員退職慰労引当金	70,200	73,980
資産除去債務	90,724	88,347
長期預り保証金	1,232,834	1,232,768
固定負債合計	2,679,568	2,590,195
負債合計	8,821,833	11,465,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	43,167	43,167
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,145,978	3,926,353
利益剰余金合計	8,497,822	8,278,197
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	9,457,294	9,237,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,657	6,918
繰延ヘッジ損益	-	△12,161
評価・換算差額等合計	9,657	△5,243
純資産合計	9,466,952	9,232,425
負債純資産合計	18,288,785	20,697,473

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	3,820,017	4,307,497
売上原価	1,854,943	2,182,535
売上総利益	1,965,073	2,124,961
販売費及び一般管理費	1,998,591	2,179,241
営業損失(△)	△33,518	△54,279
営業外収益		
受取利息	262	286
店舗用什器売却益	10,719	7,406
販売済未使用ギフト券収入	-	5,294
受取ロイヤリティー	8,806	4,301
その他	3,643	13,374
営業外収益合計	23,431	30,664
営業外費用		
支払利息	3,741	3,270
店舗設備除去損	3,370	5,597
その他	323	353
営業外費用合計	7,435	9,221
経常損失(△)	△17,521	△32,836
特別損失		
固定資産売却損	-	236
固定資産廃棄損	10,901	15,146
特別損失合計	10,901	15,383
税引前四半期純損失(△)	△28,423	△48,219
法人税等	△14,088	△21,313
四半期純損失(△)	△14,335	△26,905

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。